



あったか子育て 優しい老後

大利根町長 柿沼トミ子



私が町長に就任して、早1年
間が過ぎようとしています。
この間母子愛育会の皆様の心
温まるご支援につきまして、
厚く御礼申し上げます。

私自身愛育会の会員として、
活動していたこともあり、母
子愛育会の活動については、
常に関心を寄せておりました。母子愛育会の皆
様が、お年寄りの家庭や赤ちゃんを抱えた家庭
を訪問し、見守り活動をなさっていることや各
種の交流会を開催していることなど、ありがた
く思っております。

私は、町長に就任するにあたって、公約とし
て「あったか子育て優しい老後」を掲げ、この
実現のため、1年間、子育て支援や高齢者の福
祉向上に努めて参りました。この思いは皆さま
の活動と会い通じるものがあると思います。

さて、平成21年度に町が実施するための予

算は、私が初めて編成いたしました予算でござ
います。その中で、さらに子育て支援、高齢者
の福祉推進をはかるべく、各種の事業に取り組
みたいと考えております。例として、平成21
年度の予算では、子育て支援センターの設置や
こんにちは赤ちゃん事業の開始、不妊治療費の
助成、生き生きサロンや地域サービスの拡
充などを実施して参りたいと考えております。

しかしながら、こうした事業が大きな成果を
納めるには、町行政だけではなく、お年寄りや
乳幼児を支援し、見守ってくださる地域の方々
や多くのボランティアの支えが必要でございま
す。皆様方には、地域における若いお母さん方
の子育てについての支援、単身の及びお年寄り
だけの世帯の見守りなど、どうぞ引き続きご協
力をお願いいたします。

結びに、母子愛育会の限りない御発展と会員
の皆様のご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上
げましてあいさついたします。

美しく生きるために皆で守る健康

大利根町母子愛育会会長 篠塚 妙子



私は美しい思い出と共に現
実を見つめながら22年の間、
会長として“健康の和”を広
げて参りました。昭和60年に
豊野地区愛育会会長に選ばれ、
初めての総会にどうすればよ
いかを考えました。まず大字
毎の役員選出に出向き、愛育

班について「健康は自分の最高の幸せであり
お金では買えない宝物である」と話しながら、
役員組織を作りました。その時の総会に100人
も集まり、私は感動して「この道より我を生
かす道なし、我この道を行く」と誓い、今に
続いています。

当時は愛育会を知らない人ばかりでした。
町の指導で、組織が完全なら会の運営はスム
ーズにいく事を教えられました。特に役員
の役割と自覚については「やるなら皆で助け
合い、楽しくやろう」と呼びかけ“素晴らしく
生きる為に皆で守る健康”をスローガンに掲
げ、役員の間を高め活性化に努めました。

それから地域の区長や町議員に会って、積
極的に愛育班活動の必要性を伝え、総会や愛
育だよりを通して愛育班活動の理解を得る努
力をしてきました。現在では全戸加入となり、
地域全体の組織としての愛育会が理解され定
着してきました。全戸加入は県内でも他に先
がけ、町愛育会の誇りです。

住民への呼びかけ声かけ（住民健診や健康
まつりへの住民参加の為の声かけ）は、班員
の自主的な活動です。各地区役員の自覚が深
まり、少子化への取り組みも、子育て支援と
して各地域毎に実践されました。

赤ちゃんから高齢者までのすべての住民が
明るく健康でいられる環境づくりへの手助け
は、愛育会の使命であります。町と共により
良い町づくりへの活動は私の役目であり、今
後も続けていきたいと思っております。

現在は米国に端を発した世界的不況の中で
暗いニュースばかりですが、これからも住民
の方誰もが「知的で美的で素敵に生きる」よ
うに、お祈りいたします。